



インターネット・携帯電話のトラブル **子ども編**

大人に比べ、インターネット等への関心や適応力が高く、大人が思う以上に身近なものになっています。しかし、理解力や危機意識が低いいため、トラブルに巻き込まれる危険性も高くなり、ゲームやネットショッピングなど、高額な金銭トラブルになることも少なくありません。

無料ゲーム



クレジット会社から身に覚えのない20万円の請求が届いた。小学生の子どもがタブレットで**無料のオンラインゲーム**を利用し、**アイテムを購入**していることがわかった。親は了承していないので、キャンセルしたい。

こうして防ごう!



「無料」と宣伝していても、全てが無料で利用できるとは限りません。

ゲームのアイテム購入画面では「年齢確認画面」が表示されることがあります。年齢によって購入できる限度額があり、虚偽の年齢で購入した場合、親の承諾がなかったとしてもキャンセルは難しくなります。

また、保護者のクレジットカードの保管にも注意が必要です。

アダルトサイト



中学生の息子が**携帯音楽プレーヤー**からインターネットを利用して。無料の動画サイトを見ようと思いタッチしたら、アダルトサイトに登録になった。9万9800円を請求されたが支払いたくない。

こうして防ごう!

携帯音楽プレーヤーからもインターネットに接続でき、有害なサイトの閲覧ができることを保護者も理解しておきましょう。

アダルトサイトへの対応⇒
インターネット・携帯電話のトラブル(大人編)P10・11へ

通信販売(偽ブランド)

高校生の息子が、スポーツブランドのスニーカーをネット通販で注文した。サイトは日本語なのに、振込先口座が外国人名義だったので不審に思った。また、説明には不自然な言い回しもあったが、信用して代金を振り込んだ。

その後、国際郵便で日本語の荷物が届いたが、頼んだものと違った。商品も偽物だと思う。



こうして防ごう!

「正規販売店の値段よりも極端に安かったり、振込先口座の名義人が外国人名の場合は、偽ブランドサイトであることが疑われます。安易にサイトを信用せず、まず疑ってみることがだまされない第1歩です。

怪しいサイトの見分け方⇒通信販売トラブル P14・15へ

フィルタリング

有害サイトアクセス制限サービス

フィルタリングはインターネットのページを一定の基準により「表示してよいもの」(子ども向けの健全なサイトなど)と「表示禁止のもの」(出会い系サイトやアダルトサイトなど)に分け、子どもに見せたくないページにはアクセスできないようにする、とても有用な機能です。フィルタリングには様々な機能があり、子どもの年齢やご家庭の方針に合わせて選択することができます。ゲーム機や携帯音楽プレーヤーなどにもフィルタリングをかけておくと安心です。